

KaVo ダイアグノカム カリエス診断は光の時代へ



販売名：ダイアグノカム
一般的名称：歯科診断用口腔内カメラ
認証番号：225AIBZX00028000
管理医療機器

KAVO
Dental Excellence

カボデンタルシステムズ株式会社

本社 〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 Tel.03-6866-7480 Fax.03-6866-7481
札幌支店：Tel.011-716-4694 Fax.011-716-4692 仙台支店：Tel.022-772-7375 Fax.022-772-7376
東京支店：Tel.03-6866-7480 Fax.03-6866-7481 名古屋支店：Tel.052-238-1146 Fax.052-238-1567
大阪支店：Tel.06-7711-0450 Fax.06-7711-0451 福岡支店：Tel.092-441-4516 Fax.092-472-1844
<http://www.kavo.jp>
VICPJB1908V2 INS-084

KAVO
Dental Excellence

KaVo ダイアグノカムによる カリエスの早期検出

KaVo ダイアグノカムは口腔内センサーや2D および 3D など、これまでのう蝕検出法を補完する製品で、早期かつ極めて容易に隣接面および咬合面カリエスを検出することができます。プラークの沈着やオーバーラップによる画像の歪みによる影響も受けず、歯牙の構造とう蝕病変部を鮮明に描出します。X線による被曝の心配もなく、チェアサイドで簡単に撮影することができます。

光によるカリエス診断—光の時代へ

これまでのカリエス検出はX線撮影などが主流でしたが、KaVo ダイアグノカムは光を使用することで被曝の心配がなく、しかも格段に優れた画質で細部にわたる画像が得られます。

- ・ 機器先端部の光源とする光は、歯根部から歯の内部を透過させます。
- ・ デジタルビデオカメラによって撮影されたライブ画像をモニターに映し出します。
- ・ 歯は光の伝導体となり、歯の構造が可視化されます。光が歯の表面を通過することで、う蝕やクラックは暗色領域として明瞭に描出されます。

メリット：

- ・ 咬合面、隣接面および平滑面カリエス、二次カリエス、クラックの早期診断
- ・ 撮影前に歯面清掃を行わなくても正確な画像が取得可能
- ・ 静止画像や動画がすぐにモニターに映し出すことができ、治療計画など患者さんとのコミュニケーションツールとして役立つ
- ・ X線フリー
- ・ 一部のX線ソフトウェア*と自動的に統合が可能
- ・ 撮影ガイド機能により、撮影時における適切な焦点位置を提示
- ・ 直感的で簡単な操作
- ・ わかりやすい歯列図でデータを保存

* CliniView (Ver.11.3以降)、VixWin (Ver.3.5以降)、CONEXIO

KaVo ダイアグノカム 新しいカリエス診断システム



カリエスを早期に発見するために

KaVo ダイアグノカムは歯肉縁上の歯冠部の構造を詳細に描出します。他の検出方法と比べてカリエスを早期に発見できることで、低侵襲治療（MI 治療）、あるいは予防処置などの痛みの少ない治療を可能にします。

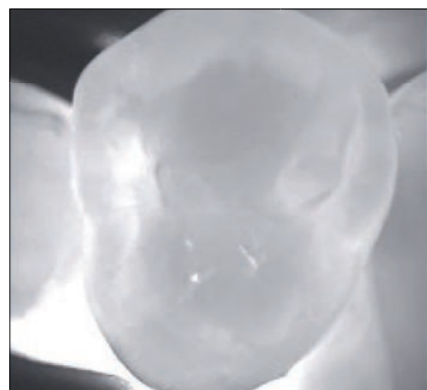
手に取る、撮影する、検出する 簡単な操作で迅速な診断

カリエスをより早期に発見すること、より安全な方法で発見することはとても重要な2つの要件と言えます。KaVo ダイアグノカムはこの重要な2つ要件を満たしたう蝕診断補助機器です。

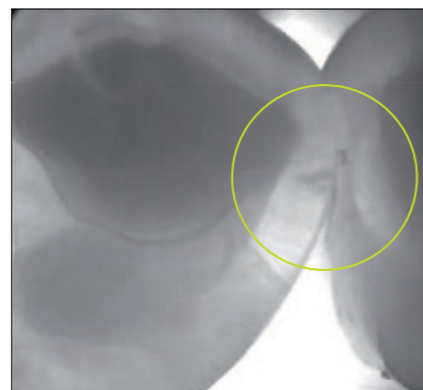
操作方法を直感的に理解できるため、製品を使用するためのトレーニングはほぼ必要ありません。

このようなメリットを兼ね備えカリエスを正確に検出できることは、何百万回にもおよぶ診療の実績により、臨床的に確立され証明されています。

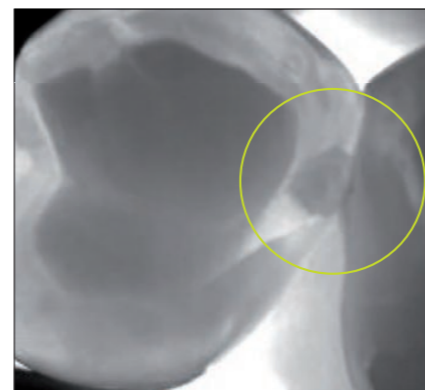
象牙質まで進行する前にカリエスを検出



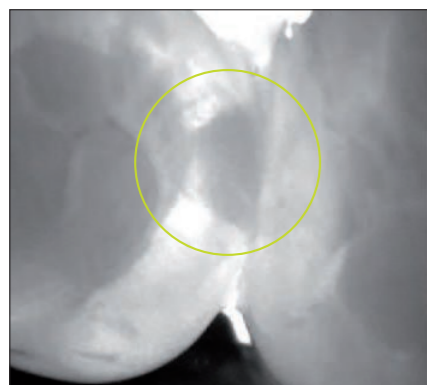
健全な歯面



隣接面のエナメル質初期う蝕



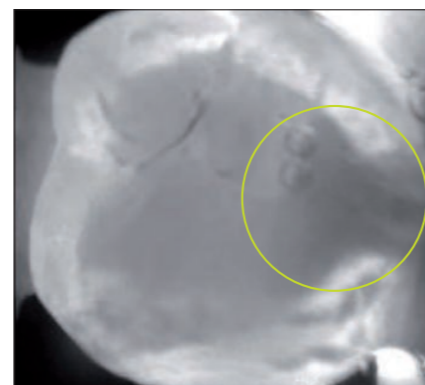
明らかな隣接面のエナメル質う蝕



エナメル象牙境に接触した隣接面のエナメル質う蝕



エナメル象牙境接点部の隣接面の象牙質う蝕

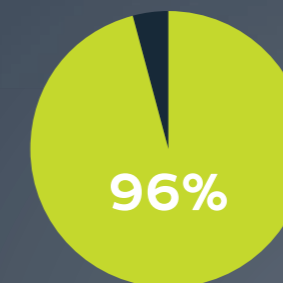


進行した隣接面の象牙質う蝕

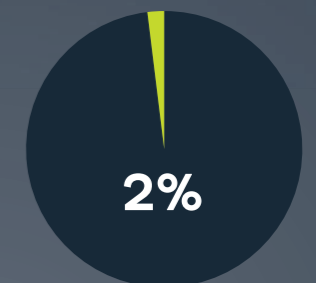
KaVo ダイアグノカム



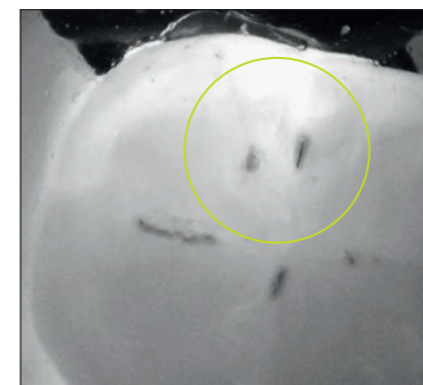
咬翼法 X 線撮影



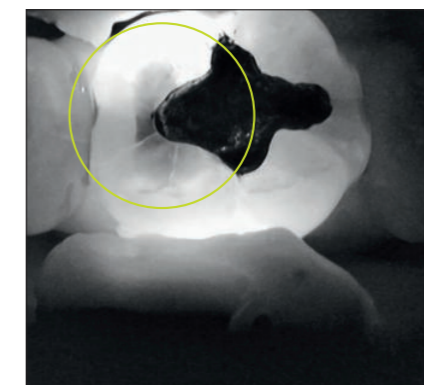
視診



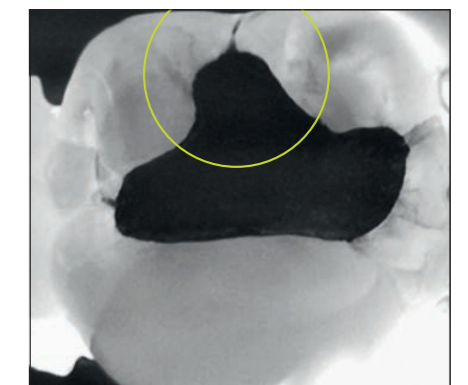
KaVo ダイアグノカムのカリエスの検出・診断、正確さの度合いは以下に報告されています。
Kühnisch J, Söchtig F, Pitchika V, Laubender R, Neuhaus KW, Lussi A, Hickel R
「隣接歯間の象牙質う蝕検出における近赤外線透過法の in vivo 検証」 Clinical Oral Investigations、2016年5月



咬合面カリエス



二次カリエス



クラック

患者さんとの優れたコミュニケーション 患者さんの理解も向上します

KaVo ダイアグノカムの大きなメリットの1つは画像の鮮明さです。画像をすぐにモニターに映し出し患者さんに示すことで、治療が必要な理由を容易に説明することができます。また、画像の保存や画像の印刷、定期検診時などの長期的な経過観察にも使用できます。



トレーニングが不要、直感的な操作の実現

KaVo ダイアグノカムはチェアサイドでの使用が可能なので、歯科医師とスタッフの診療時間の短縮になります。操作方法も簡単で、長期間のトレーニングも必要ありません。チップを歯に当てて、静止画像や動画撮影を行う、実に簡単な操作です。

リアルタイムに画像を表示

KaVo ダイアグノカムの画像は、待ち時間がなく、チェアサイドで画像を表示させることができます。わかりやすい画像を患者さんに提示することで、患者さんは治療の必要性をすぐに理解されるでしょう。早期治療を行うことで歯を健全に維持できる可能性は非常に高くなります。

X線を使わないため、定期的な経過観察に適しています

KaVo ダイアグノカムは口腔内のクリーニングを行わなくても使用することができますが、通常の定期健診の際にはメンテナンス処置や検診後にお使いいただくことをおすすめします。X線を使わずに、簡単かつすばやく撮影することができるので、体の不自由な患者さんや妊婦の患者さん、高齢の患者さんにも安心してご使用いただけます。



時間の短縮、効果的な診療

- ・ 予防処置後に KaVo ダイアグノカムを使ったう蝕検査を行います。口腔内の記録と歯科医師によるう蝕診断の準備が1回の操作で行えるため、時間を短縮することができます。
- ・ 経過観察とう蝕の早期発見を組み合わせることで、診療全体がより効果的です。

鮮明な画像により患者さんに治療計画をわかりやすく説明することができます

口腔内の状況を自ら把握すれば、患者さんは治療の必要性を理解するようになります。KaVo ダイアグノカムで撮影した説得力のある画像を用いれば、患者さんの治療計画への同意を促すことができます。



容易に理解が得られる画像

- 画像をモニターに映すことで、患者さんに治療の必要性を容易に説明することができます。
- KaVo ダイアグノカムの現状と過去の画像を比較することで、患者さんに治療内容を視覚的に示すことができます。
- 病変部位を患者さんにより容易に説明できるよう、う蝕や気になる部位の画像を拡大することもできます。

簡単で一目瞭然 直感的に理解可能なユーザーインターフェイス

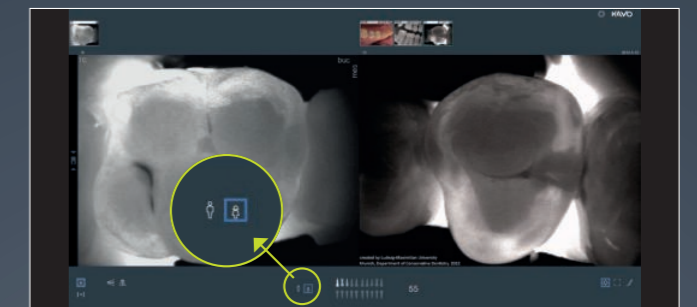
KaVo ダイアグノカムはすべての操作が直感的に理解でき、すぐに操作ができる設計になっています。撮影ガイド機能、明確な構造、わかりやすいシンボルマークなど、撮影自体と同様、診断方法も容易です。

撮影ガイド機能



- 歯マークの上下部の矢印キーのガイド機能により、撮影のための最適な焦点距離が提示されます。
- KaVo ダイアグノカムのリングスイッチを使って、静止画像や動画を撮影します。

永久歯および乳歯表示



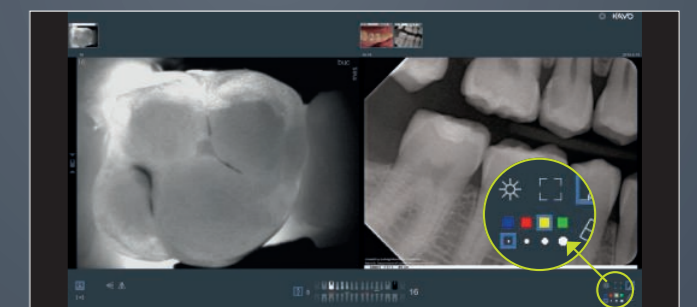
- 撮影モードで永久歯か乳歯が選択します。
 - それぞれの歯番号を選択します。
 - 撮影した画像は選択した歯番号に保存されます。
- ※ 乳歯については撮影が限定的であるため、使用できない場合があります。

歯の状態（所見）カテゴリ



- 迅速に診断するための4つの歯の状態（所見）カテゴリ
- 永久歯／乳歯の歯列図上に、病変や経過観察、健全歯の状況など、色によって口腔内全体の状況を容易に把握することができます。

画像の調整



- コントラスト（左／右）および輝度（上／下）を簡単に調整することができ、最適な診断を可能にします。
- ペンアイコンを用いて、画像上の病変部に直接マークをつけることができます。患者さんとのコミュニケーションにおける視覚的な説得力を向上させます。

診療への導入

KaVo ダイアグノカムは現在ご使用されているソフトウェアを利用して撮影・保存することもできます。例えば KaVo CliniView™、CONEXIO™ または Gendex VixWin™ は、KaVo ダイアグノカムを自動認識し、撮影した画像は X 線ソフトウェアに直接転送されます。また、TWAIN™ を介した X 線ソフトウェアの統合処理も可能です。さらに、KaVo ダイアグノカムは、マルチユーザー機能によりネットワークで接続された別の診療室でも使用することもできます。



KaVo ダイアグノカムが使用可能なソフトウェア

CliniView (Ver.11.3 以降)

VixWin (Ver.3.5 以降)

TWAIN

CONEXIO

技術情報

消費電力	最大 0.5 A
電源電圧	5 V
ケーブル長	2.5 m
重量	190 g
ライト	レーザーダイオード
波長	780 nm
最適出力	DIN EN 60825-1 規格で、15 mW
最適出力 (咬合面チップの下流側)	DIN EN 60825-1 規格で、最大 1 mW

システム要件

PC	3 GHz Dual Core 以上のプロセッサ USB 2.0/3.0 接続
メモリー RAM	4 GB 以上
ハードディスクメモリー 空き容量	1 GB 以上
オペレーティング システム	Microsoft Windows 7 Professional 32/64 Bit SP1 Microsoft Windows 10 Professional 64 Bit 以降
最小画面解像度	1280 × 1024 以上、色深度 24 ビット以上
ソフトウェア接続	CliniView (バージョン 11.3 以降) VixWin (バージョン 3.5 以降) CONEXIO TWAIN (別途インターフェイスが必要)

製品名	製品番号
KaVo ダイアグノカム シングルユーザー機能 マルチユーザー機能	1.001.9000
ダイアグノカム CD TWAIN	1.010.3642
付属品 (本体に同梱)	
ダイアグノカム チップ ラージ	1.005.1300
ダイアグノカム チップ スモール	1.005.1360
ダイアグノカム ホルダー	1.005.1380
ダイアグノカム USB 延長ケーブル	1.005.1076

寸法

